

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 防犯・交通安全課

担当名: 防犯・犯罪被害者支援担当

内線: 2940

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P31	防犯環境整備事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	防犯のまちづくり推進費	
事業期間	平成29年度～令和6年度	根拠法令	防犯のまちづくり推進条例、特殊詐欺撲滅条例		針路	02	県民の暮らしの安心確保		SDGsゴール
					分野施策	0201	防犯対策の推進と捜査活動の強化		SDGsターゲット
1 事業概要			5 事業説明						
刑法犯認知件数の減少幅が近年鈍化している現状を踏まえ、件数の多い自転車盗対策、自主防犯活動団体・協定事業者の活動活性化、子供・女性の防犯対策を推進する。  (2) 自主防犯活動活性化 経費節減による減額 <span style="float:right">△667千円</span>			(1) 事業内容 ア 防犯環境整備推進補助金(市町村の防犯のまちづくり関連事業への補助) 30,000千円 イ 自主防犯活動活性化 3,376千円→2,709千円 (自主防犯活動団体及び防犯のまちづくりに関する協定事業者の活性化、青パト普及促進) ウ 重点犯罪等抑止対策(自転車盗、特殊詐欺、女性や子供を狙った犯罪への対策) 1,767千円  (2) 事業計画 ア 自転車盗及び子供・女性の安全等の対策として防犯カメラを設置する市町村へ補助(通年) 自主防犯活動団体の新規参加者への装備品提供等の活性化事業について市町村へ補助(通年) イ 自主防犯活動団体及び防犯のまちづくり協定事業者の活性化、青パト普及促進(通年) ウ 自転車盗、特殊詐欺、女性や子供を狙った犯罪等を中心に普及啓発を実施(通年)  (3) 事業効果 重点的な犯罪対策や自主防犯活動の活性化を図り、更なる犯罪発生件数の減少を図る。 (5か年計画 刑法犯認知件数(人口千人当たり) 令和2年 6.1件 → 令和8年 5.5件)  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 自主防犯活動団体、防犯のまちづくり協定事業者と連携し、防犯環境整備を進める。  (5) 補正予算の概要 イ 経費節減による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県1/2) 市町村1/2 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△667							△667	34,476
現計額	35,143							35,143	

## 事業内訳書

事業名	防犯環境整備事業費		
単位事業名	自主防犯活動活性化	予算額	△ 667千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△667	—	
合計	△667	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△12	—	経費節減による減額
需用費	△590	—	経費節減による減額
役務費	△65	—	経費節減による減額
合計	△667	—	